

Title	タイ語における色彩修飾語の語彙意味の特徴
Author(s)	宮本, マラシー
Citation	大阪大学世界言語研究センター論集. 2010, 4, p. 55-78
Version Type	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/11276
rights	
Note	

Osaka University Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

Osaka University

タイ語における色彩修飾語の語彙意味の特徴

宮本 マラシー*

MIYAMOTO Marasri

Abstract:

Lexical Semantic Characteristics of Color Modifiers in Thai

In Thai, there are a large number of modifiers which are used in describing perceptual variations of color tones. Some words have a clear definition, while others do not.

This paper aims to study the lexical semantic characteristics of color modifiers in Thai by analyzing the lexical meaning of adjectives and adverbs used to modify the basic color terms. As a result, it has been shown that not only the modifiers generally denote the shade, hue, tint and tone of colors, but they also connote a particular aspect of color seen in a particular state of things or affairs with an emphasis on people's intention, sensation, and emotion. In addition, it has been obviously found out that a lot of color modifiers are metaphorically transferred from taste words as well as tactile words. These results suggest the color sensation, the awareness of colors, and the cognition through colors of Thai people.

Keywords : color terms, modifiers, color cognition, color sensation, color awareness,

キーワード : 色彩語, 修飾語, 色彩認識, 色彩感覚, 色彩意識

1. はじめに

Berlin B. and Kay P. [1968] は, 言語によって色彩語の数が違っているにもかかわらず, 白, 黒, 赤, 緑, 黄, 青, 茶, 紫, ピンク, オレンジそしてグレーの中の11の色彩語の中の2語以上であることが一般的であり, これらは基本色彩語 (Basic Color Terms) と呼べると主張している。そして, 世界の様々な地域の言語, 計20カ国語の色彩語を調査した結果では, それぞれの言語における色彩語の数はそれぞれの社会や民族が持っている色彩に対する認識の指標である, と指摘している。そしてそこには, タイ語は *khǎ·w*

* 大阪大学世界言語研究センターアジア言語文化圏研究部門Ⅱ・教授

white, *dam* black, *dε・η* red, *khǐaw* green, *lǎŋ* yellow, *fá・*blue, *nám-ta・n* brown, *múŋʔ* purple, *chomphu・*pink, *sàad* orange¹と10の基本色彩語の存在があるとも指摘している [Berlin B. and Kay P. 1968 (1999)]。また, Lyons [1995] は英語の色彩語を例として取り上げ, 色彩語を修飾する言葉について次のように論じている。英語では, deep, pale, light, dark, bright, vividそしてbrilliantのような形容詞が多く存在する。それぞれの言葉は基本色彩語を修飾することによって, 基本色彩語から派生する様々な色合いの表現が可能になる。また, 一般的に用いられる英語の形容詞には「色がある (having colour)」, または「色が無い (colourless)」といった意味合いの言葉がないことも指摘している²。一方, Williams J.M. [1976] は比喩的転用 (Metaphoric Transfer) について論じた際, 「共感覚的比喩 (Synaesthesia)」について次のように指摘した。すべての言語における比喩的転用の最も典型的な形式は, ある感覚分野のことを表現するのに別の感覚分野に属する語を比喩的に用いる「共感覚的比喩 (Synaesthesia)」である。また, 比喩的転用の方向は一方向的であることも指摘した [Williams J.M. 1976 : 463]。色彩の修飾語については, たとえば, dull colorのように, 触覚語から色彩語に転用があっても, 色彩語から触覚語へ逆方向に転用することはなく, また, 味覚語は, 一旦聴覚語に転用した後色彩語に転用されることは見られても, 直接色彩語に転用されることはないし, 逆に色彩語から味覚語に転用されることもない, とも述べている [Id. at 464]。

宮本 [2010] は, Berlin B. and Kay P. が指摘したタイ語の基本色彩語10語以外にも, thao (グレー) という色彩語の存在もあり, タイ語の基本色彩語は英語や日本語と同じように, dam (黒), khǎao³ (白), dεεη (赤), khǐao (緑), lǎŋ (黄), nám-ŋen (青), sóm (オレンジ), chomphu (ピンク), múŋ (紫), nám-taan (茶), そして thao (グレー), と11語であることを主張している。さらに, 基本色彩語から派生した色彩の種類および色合いを持たせるためのさまざまな表現法があり, 表現の多様性における度合いはそれぞれの色彩に対する認識や意識を示すということも指摘している。つまり, タイ人の色彩に対する認識の展開は色彩語表現が多く見られる dεεη (赤), khǐao (緑), khǎao (白), dam (黒), そして lǎŋ (黄) の色彩のグループから, múŋ (紫), nám-taan (茶), chomphu (ピンク), sóm (オレンジ), nám-ŋen (青), そして thao (グレー) の色彩のグループへと広がっていく。また, 色彩に対する意識や関心は, 色彩表現が最も多く見られる dεεη (赤), khǐao (緑) が最も深く, その次は, khǎao (白) と dam (黒) となり, さらに lǎŋ (黄), そして múŋ (紫), nám-taan (茶), chomphu (ピンク),

1 タイ語の表記は本稿での表記法と異なる部分があるが, 原文のまま引用した。

2 英語には coloured と colourful という言葉が一般的に使用されるが, この2つの言葉については, Lyons は, 「色がある (having colour)」とは違った意味で用いられるし, また哲学的な論議の場合に「色がある (having colour)」という意味で用いられることもあるが, 特別な使い方しかない」と主張する [Lyons 1995: 203]。

3 ローマ字表記の上部に付いている符号は声調を表す。「̀」は低平調, 「^」は下降調, 「´」は高平調, 「ˊ」は上昇調, そして, ローマ字表記の上部に何の符号もない場合は中平調である。

sóm (オレンジ), nám-nən (青), そして thao (グレー) へと浅くなっていく。宮本が指摘した様々な表現法には、熟語として基本色彩語に名詞(句)が後続する表現、比喩表現、慣用表現、反復表現、そして基本色彩語に修飾語(Modifiers)(形容詞的修飾語および副詞的修飾語)が後続するものがある。基本色彩語に修飾語が後続する表現には、色彩の濃淡や明暗を表したり強調するために、1つの色彩語に付く修飾語が複数あることも明らかである。たとえば、「dɛɛŋ (赤) + 修飾語」には、dɛɛŋ cháan, dɛɛŋ kám, dɛɛŋ prɛ́n, dɛɛŋ pɛ́ɛt, dɛɛŋ cɛ́ɛt などがある。これらすべてを日本語に訳すなら、同じように「真っ赤」となる。しかし、そこには、それぞれの修飾語の間に含意の相違があるのかどうか。また、たとえば、dɛ́ɛŋ dɛɛŋ (真っ赤) といった強調を表す反復語の表現とは意味合いの相違があるのかどうかについては指摘されていない。それぞれの修飾語の含意も明らかにすれば、タイ人の持つ色彩に対する認識や意識の新たな面が見られるものと推測できる。そのため、ここでは、それらの修飾語が用いられる色彩表現を意味的に分析し、それぞれの修飾語における意味合いの相違を把握したい。そして、それぞれの意味合いには、Lyons が指摘した英語の deep, pale, light, dark, bright, vivid そして brilliant のような明暗や濃淡の色合いの意味以外に、他の意味合いが見られるかどうか、また、Williams J.M. [1976] が指摘した色彩語の修飾語と他の感覚語の修飾語との間における「共感覚的比喩 (Synaesthesia)」の現象も見られるかどうか。仮に「共感覚的比喩 (Synaesthesia)」の現象が見られるとすれば、Williams J.M. の指摘した比喩転用方式の通りであるかどうかも確認したい。分析対象として用いられる表現には、「sǐi (色) および 11 の基本色彩語 + 修飾語」という表現であり、WEB 上に見られるものを中心に分析しているが、タイインフォーマント⁴に作成を依頼して得たもの、論者個人の経験から得たもの、辞典または文学作品から引用したものもある。

2. 色彩修飾語の表現

(1) sǐi (色)

1.1. 修飾語が明確な意味を持つ語

sǐi (色) に明確な意味を持つ修飾語が後続する表現には、sǐi ʔùn (色・暖かい = 暖色), sǐi yen (色・涼しい / 冷たい = 寒色), sǐi ʔón (色・弱い / 柔らかい = 薄い色), sǐi kɛɛ (色・老いた / 熟した = 濃い色), sǐi caŋ⁵ (色・うすれた / あせた = あせた色, 薄い色), sǐi khém (色・濃い = 濃くて深みがある色), sǐi mút (色・暗い = 暗い色), sǐi sawaŋ (色・明るい = 明るい色), sǐi sòt (色・新鮮な = 鮮やかな色), sǐi thum (色・くすんだ / 沈んだ / 陰った = 暗くてくすんだ色), sǐi càt (色・極端な / 厳しい = きつい色), sǐi khlám (色・不鮮明な / うす暗い = くすんだ色, 濁った色), sǐi riap (色・平らな = 落ち着いた色, 地味な色), sǐi cùt (色・味気ない / あっ

4 インフォーマントは女性7名、男性3名の20代～60代の10名の男女である。20代は2名、30代は2名、40代は2名、50代は3名、60代は1名である。

5 cは有気音 [tʃ^h] ではなく無気音 [tʃ] であり、英語の cat のような [k] の発音ではない。

さりとした=物足りない色, 薄い色), *sǐi mǒn* (色・憂鬱な / スカッとしない=グレーがかっているようなくすんだ色, 渋い色), *sǐi wǎan* (色・甘い=パステルカラー), *sǐi prǐao* (色・酸っぱい=大胆な色, 派手な色), *sǐi cèp cèp* (色・痛い・痛い=派手な色), *sǐi sèep sèep* (色・沁みる・沁みる=派手な色) 等がある。これらの表現を用いた例を見てみよう。

1/W⁶ *nám thǐi bán mii sǐi khlám* [色・不鮮明な / うす暗い] *máak.mái sǎap wáa ca kéekhái rǔaŋ sǐi hái sǎi dǎi yàaŋrai.*

家の水道はとても濁った色 (濁っている) をしている。透明になるように、どのように改善すればいいか分からない。

2/W *krom wít néʔ yàa kin ʔaahǎan sǐi chùtchaat* [色・派手な] *kəən.*

科学局はあまり派手な色の食べ物は食べないようにとアドバイスする。

3/W *sǐi thəm thəm* [色・くすんだ・くすんだ] *yàaŋ sǐi nám-taan mái khuan cháit.tháa ca hái dii tǒŋ pen sǐi sèep sèep sòt sòt* [色・沁みる・沁みる・新鮮な・新鮮な]

茶色のようにくすんだ色 (地味な色) は使うべきではない。目に沁みる新鮮な色 (派手な色) がいい。

4/W *rɔŋ-tháo pháabai sǐi cèp cèp* [色・痛い・痛い] *sǔai sǔai, maa duu kan.*

美しく 痛い色 (派手な色) の運動靴ですよ, ご覧ください。

5/W *pháap sǐi cǔət* [色・味気ない / あっさりとした] *pai, ca tham yàŋŋai hái man duu mii chiiwít nǒi.*

写真の色はあっさり (色が薄い) すぎて, どうすれば鮮やかにすることができるでしょうか。

6/W *kháaŋ kháaŋ pen saakuráʔ sǐi wǎan* [色・甘い] *kàp sǎai lom yen yaam cháó.*

両側は甘い色 (淡い色, パステルカラー) の桜と朝の涼しい風で

7/W *fɛɛchán nǎa rǒn tǒŋ sǐi sòt prǐao cíit* [色・新鮮な・酸っぱい, 酸っぱさを強調する語].

夏のファッションは鮮度が高くて非常に酸っぱい色 (とても派手な色) でないといけない。

sǐi thəm (色・くすんだ / 沈んだ / 陰った) は *sǐi khlám* (色・不鮮明な / うす暗い) と *sǐi mǒn* (色・憂鬱な / スカッとしない) と同じように, 日本語に訳せば「くすんだ色」

6 数字の後ろにあるローマ字記号は例文の出所を示す。W は WEB 上, P は筆者の体験, I はインフォーマント, D は『タイ日辞典』[富田竹二郎 1990], そして L は文学作品, から引用したことを示している。

となり、明度や鮮度が低い色であるが、*sǐi thəm*は例3のように「落ち着いた色」、「地味な色」という意味合いを持つのに対し、*sǐi khlám*は茶色がかっていて、例1のように、汚れが混ざっている色、そして*sǐi mòn*はグレーがかっていて、暗い印象を与えるような色として用いられる。

明確な意味を持っている修飾語には、*sǐi sawàŋ* (色・明るい=明るい色)、*sǐi thəm* (色・くすんだ/沈んだ/陰った=暗くてくすんだ色)のように、修飾語が表す意味の通り色の明暗を表すものもあれば、見て涼しく感じる*sǐi yen* (色・涼しい/冷たい=寒色)や、例5のように味が薄いものを食べたときの物足りない気持ちのように色彩としての物足りなさを感じる*sǐi cùut* (色・味気ない/あっさりとした=薄い色)、例6のように甘いものを食べるときの感覚と同じように、見た目に優しく、刺激を与えない美しい色は*sǐi wǎan* (色・甘い=淡い色、パステルカラー)、また例4と例3のように、身体が何かの衝撃を受けて痛くなったり、または傷口に刺激を受けたりしたときの「痛い」や「沁みる」という感覚と同じように、見ると目が痛くなるような目に眩しい強い色*sǐi cèp cèp* (色・痛い・痛い=派手な色)、*sǐi sèep sèep* (色・沁みる・沁みる=派手な色)、例7のように、酸味の強いものを食べると舌や歯が強く刺激を受けるときの感覚と同じように、見ることで目に強い刺激を受ける*sǐi prǐao* (色・酸っぱい=派手な色)、といったような修飾語が比喩的な意味合いを持つものがより多くある。

1.2. 修飾語は明確な意味を持たない語

下記の例8～例11に用いられる修飾語は、それぞれの語自体は単独では明確な意味を持っていないと思われる。

8/W (テレビの画面の色がきつ過ぎて) *sǐi céet* [色・派手さを表す語] *sèep taa caŋ, hǎa rǘaŋ pai noon dii kwàa.*

céet (派手な) 色は目に沁みるので、もう寝た方がいい。

9/W *yàak thaa lép sǐi cíit cíit* [色・派手さを表す語・派手さを表す語].

cíit cíit (派手な) 色のマニキュアを塗りたい。

10/W *mék búk pro sǐi cáap cáap* [色・派手さを表す語・派手さを表す語].

cáap cáap (派手な) 色の Mac Book Pro です。

11/W *mii khrai tham rót sǐi prǐen prǐen* [色・派手さを表す語・派手さを表す語], *léeo doon bòok mǎn phǒm bǎaŋ.*

車の色を *prǐen* (派手) な色にして、(タクシーだと思われて) 呼び止められた。僕と同じ経験をした人はいませんか。

céet, *cíit cíit*, *cáap cáap*, *prǐen prǐen* は *sǐi* (色) に後続すると、色が派手であることが表わされるので、日本語では「派手な色」と訳すことができる。例2で取り上げている *sǐi chuutcháat* (色・派手な) も「派手な色」を意味するが、

chùutchaat は一般の派手な色を表現する場合に用いられる。それに対し, cét は不快感を覚えるほど話し手にとって度を越した派手さであることを強調する。cíit cíit は pùat cíit cíit (痛い・cíit cíit), または práao cíit (酸っぱい・cíit) と表現されるように, 何かに刺されたような痛みや強い酸味による刺激を表す言葉として用いられるが, ここでは, 色が派手なことにより, 強い刺激を受ける場合に sǐi (色) に後続して用いられる。cáap (cáap) は, かつて wai cáap (世代・cáap = 若い世代) というスラングがあったように, 若さを表すのに用いられた流行りの言葉だが, sǐi (色) に後続すると, その色の若々しい派手さが強調される。例 11 の prěen (prěen) はその色の使用者が思い切って派手な色にしてそれを披露したいという意図がある場合に用いられる。

(2) dam (黒)

2.1. 修飾語が明確な意味を持つ語

dam (黒) に明確な意味合いを持つ修飾語が後続する表現には, dam khlám (黒・不鮮明な / うす暗い) と dam múut (黒・暗い) しか見られない。そして, dam khlám (黒・不鮮明な / うす暗い) は日焼けしたような肌の色を表す場合のみに用いられ, dam múut (黒・暗い) は色合いを表すのではなく, 明らかではない状態を表す比喩的な意味合いを持つ慣用表現である。

12/W kaan ráksǎa rim-fǐi-pàak dam khlám [黒い・不鮮明な / うす暗い] dúai leeséə mii khǎn-toon kaan tham thǐi mái yúnjyáak,
くすんだ黒色 (くすんだ色) になった唇のレーザー治療は複雑な治療ではなく,

13/W rǔaŋ ciŋ thǐi yaŋ khon dam múut [黒い・暗い],
まだ事実は黒くて暗い (明らかではない) 話ですが,

2.2. 修飾語は明確な意味を持たない語

例 14 ~ 例 22 の dam (黒) に後続する修飾語は明確な意味を持たないと思われる語であるが, dam (黒) に後続することにより, 様々な黒さの意味合いが生みだされる。

14/W nám khloŋ mii sǐi dam pǔu [黒い・黒さを強調する語].
川の中の水は dam pǔu (真っ黒) だ。

15/W ʔarai kó duu dii pai mòt, sǎa yàaŋ diao khǎo-sòok lé hǔa-khào dam pǐi [黒い・黒さを強調する語] chiaŋ.
どこをみてもきれいですが, 肘と膝が dam pǐi (真っ黒) であるのは残念だ。

16/W rao cháŋ kuan-ʔim thaa kòon noon, mǔa-kòon rákréə rao dam mít mǐi [黒い・黒さを強調する語], hǎn phǎn læei.

以前、私の脇は dam mítmǐi (真っ黒) でしたが、寝る前にグアンイムというクリームを塗ったところ、よく効きましたよ。

17/W thammai mǐi p̄ændāa thǔŋ taa dam pítpǐi [黒い・黒さを強調する語].
なぜパンダの目は dam pítpǐi (真っ黒) なのでしょう。

18/P phúu-chaai sǐi háa khon khut thanǒn kram d̄eet t̄aŋt̄eε cháo yan khām, tua dam máʔmǐam [黒い・黒さを強調する語].

4, 5人の男たちは日差しを浴びながら朝から晩まで道路を掘っていたので、体は dam máʔmǐam (真っ黒) になっていた。

19/P d̄ek líaŋ khwaai nai thǔŋ tua dam mǐam [黒い・黒さを強調する語]
mǔan khwaai thǐi líaŋ l̄eεi.

野原で水牛の番をしている子供はその水牛と同じように体が dam mǐam (真っ黒) だ。

20/W mii ʔarai baŋ yàaŋ s̄on yùu nai duaŋ taa dam khlap [黒い・黒さを強調する語] khúu nán.

その dam khlap (真っ黒) の目には何かが隠されている。

21/I ʔái n̄um chaao-naa tua dam p̄ut [黒い・黒さを強調する語] chiaŋ.

農家の男は身体が dam p̄ut (真っ黒) だ。

22/I h̄en roŋ-tháao th̄ot yùu n̄aa h̄oŋ l̄ai khúu, duu dam p̄utp̄u
[黒い・黒さを強調する語] l̄eεi.

部屋の前にたくさんの靴が脱ぎ捨てられていて、(一面が) dam p̄utp̄u (真っ黒) に見える。

p̄u, p̄i, pítpǐi, mítmǐi, mǐam, máʔmǐam, khlap, p̄ut そして p̄utp̄u は dam (黒) を修飾すると、いずれも日本語では「真っ黒」と訳せるように、その黒さを強調する。一般的に黒さが強調される反復表現⁷である *dám dam* と違い、より限定的で具体的な状態の黒さや話し手それぞれの黒さに対する感覚または感情の微妙な違いが示される。dam p̄u は話し手にとって汚く感じる意が含まれている。dam p̄i の p̄i は khóm p̄i (苦い・p̄i = すごく苦い) と khem p̄i (塩辛い・p̄i = すごく辛い) にも見られるように、khóm (苦い) と khem (塩辛い) も修飾する。苦いや塩辛いといった不快な味覚と同じように、p̄i が dam (黒い) を修飾すると、人に不快感を与えるほど黒すぎると思う話し手の感情を含意する。dam mítmǐi は、言及される対象のものは他の色が混ざる余地がないほど真黒であるという状態を強調する場合に用いられる。dam pítpǐi は dam p̄i と同じような使い方と意味であるが、dam p̄i よりさらに強調の度合いが高いと思われる。dam mǐam と dam máʔmǐam は油や汗に汚れた身体の黒

7 色彩の反復語は、たとえば、「*dám dam* (真っ黒)」や「*d̄eεŋ d̄eεŋ* (真っ赤)」のように、先行語を高平調にすると「真～」となり、色彩の純粋さ、濃さまたは派手さを強調する [宮本 2010]。

さを表す。dam khlap は髪の毛や目のようにつやのある黒さを強調する。dam pút は黒さだけではなく、頑丈さや野蛮さの意味合いも含まれる。そして、dam pútprút は一面全体に黒さが広がっているような状態を強調する。

(3) khǎao (白)

3.1. 修飾語が明確な意味を持つ語

23/W [商品広告] khritsatân sǐi khǎao sǎi [白い・透明である] tónrǎp nǎa rón.

khǎao sǎi (透き通った白色) のクリスタルで、夏を迎える。

24/W thúi kĕo sǐi khǎao mǒn [白い・くすんだ] bai nán thùuk thǐng wái con fùn kǒ? krə?kraŋ.

khǎao mǒn (くすんだ白色) のコップは、ほこりまみれにほったらかされていた。

25/W thammai phǐu-nǎŋ sùn thǐi pít phláatsatĕə cəŋ khǎao sǐit [白い・蒼ざめた].

なぜ絆創膏が貼られていた部分の皮膚は khǎao sǐit (蒼白く) なるのだろう。

26/W tháa bǐip manaao loŋ pai léknóoi weelaa hǔŋ kháao, kháao ca khǎao nuan [白い・クリームのように (白い)] nǎa rápprathaan khún yé?.

ご飯を炊く時、少しライムを絞って入れたら、炊いたご飯が khǎao nuan (クリームのように白く) なり、とても美味しそうになる。

khǎao sǎi は透き通った白さを表し、khǎao mǒn はグレーが混ざっているようなくすんだ白であり寂しさや孤独を感じさせるような意味合いを持つ。khǎao sǐit は「蒼白い」といった不健康な肌の場合にのみ用いられ、khǎao nuan はパウダーを塗っているような白い肌やソフトで滑らかな白さを表す場合に用いられる。

27/W khrai thaa péŋ hǎi méen, nǎa khǎao wók [白い・猿] ləei.

メーン (女性の名前) の顔は khǎao wók (真っ白) になったのは、誰かがパウダーを塗ってあげたのでしょうか。

28/W mɛəo khǎao manii pen mɛəo thǐi sǔai-ŋaam máak, ... phan thĕə tǒŋ mii sǐi khǎao plót [白い・すべて~ばかりの] thǎŋ tua.

カーオマニーという猫はとてもきれいな猫であり..... 体全体が khǎao plót (真っ白) でなければ純血種とは言えない。

29/W mái dáŋ cəə sǒŋ pii tháonán, phǒm khǎao phloŋ [白い・明明と] pai thǎŋ hǔa.

会っていなかったのは二年だけなのに、髪の毛が (すべて) khǎao phloŋ (真

っ白) になってしまった。

30/W ʔám sòt-sǎi, nǎa-rák mǎak, pèet lài khǎao phòŋ [白い・汚れのない].
 アム (女優) は爽やかで、とても可愛くて、khǎao phòŋ (真っ白) な肩を露
 わにしている。

31/W yím hěn fan khǎao róo [白い・遠くからはっきりと見える] maa tɛɛ klai.
khǎao róo (真っ白) な歯を見せて微笑んでいるのが、遠いところからでも
 はっきり見える。

例 27～例 31 に見られる wóok (猿), plòot (すべて～ばかりの), phlooŋ (明々と),
 phòŋ (汚れのない), róo (遠くからはっきりと見える) は khǎao (白) を修飾すると、
 すべてが日本語の「真っ白」と訳せるように、それぞれの白さが強調されている。例 27
 の wóok (猿) が khǎao (白) に後続すると、パウダーを塗っている顔の白さが度を越え
 て、猿の顔のように滑稽である状態が比喩的に表現され、非難の意味合いも含まれる。

3.2. 修飾語は明確な意味を持たない語

khǎao (白) に後続する修飾語で明確な意味を持たないものは、例 32 で示されている
 cúaʔ しか見当たらない。

32/W nóŋ ceen sǎao sǎi taa too khǎao cúaʔ [白い・白さを強調する語].
 ジェーン (女性の名前) ちゃんは純粋な女の子、目が大きくて、肌が
khǎao cúaʔ (真っ白) だ。

cúaʔ が khǎao (白) を修飾すると、「真っ白」という意味になり、好印象を与える汚
 れのない白さが強調される。例 30 で取り上げている khǎao phòŋ (白い・汚れのない)
 も「汚れのない白さ」を意味するが、khǎao phòŋ は肌の白さのみを表すのに対し、
 khǎao cúaʔ は肌以外のものの白さも表す場合にも用いられる。

(4) dɛɛŋ (赤)

4.1. 修飾語が明確な意味を持つ語

dɛɛŋ (赤) に明確な意味を持つ修飾語が後続する表現には、dɛɛŋ ʔòon (赤・柔らか
 い / 弱い = 薄い赤), dɛɛŋ kɛɛ (赤・老いた / 熟した = 濃い赤), dɛɛŋ khém (赤・濃
 い = 濃くて深みのある赤), dɛɛŋ sòt (赤・新鮮な = 鮮やかな赤), dɛɛŋ mòn (赤・憂
 鬱な / スカッとしない = グレーがかっている赤), dɛɛŋ khlám (赤・不鮮明な / うす暗
 い = 濁った赤) がある。例を見てみる。

33/W klòŋ sài wɛɛn pen klòŋ kammayii sǎi dɛɛŋ sòt [赤い・新鮮な].
 指輪を入れる箱は鮮やかな赤色のヴェロアのものです。

34/W rôt faifáa chaan mɛaŋ sǎai sǐi dɛɛŋ ʔòɔn [赤い・やわらかい / 弱い]
pen sùan nɛŋ khɔ̃ŋ ráʔbòp rôt faifáa chaan mɛaŋ.

薄い赤色の郊外電車は郊外電車システムの一部である。

35/W man mâi cháii sǐi dɛɛŋ thammdaa, man pen sǐi dɛɛŋ mɔ̀n [赤い・
憂鬱な / スカッとしない], thamhái konoka rúusúk thǎŋ khwaam-sáo
mɔ̃ŋ nai hǔa-cai,

普通の赤色ではなく、スカッとしない赤色（グレーがかっている赤色）なので、
コノカ（女性の名前）の心に悲しみを感じさせて、

36/W yùu dii dii chàii ʔòɔk maa pen sǐi dɛɛŋ khlám [赤い・不鮮明な /
うす暗い], tòk-cai máak.

突然、出てきた尿はうす暗い赤色（濁った赤色）なので、とても驚いた。

ʔòɔn（柔らかい / 弱い）、kɛɛ（老いた / 熟した）、khém（濃い）、sòt（新鮮な）は
dɛɛŋ（赤）に後続すると、ただ dɛɛŋ（赤）の明暗や濃淡を示す。しかし、mɔ̀n（憂鬱な
/ スカッとしない）と khlám（不鮮明な / うす暗い）は dɛɛŋ（赤）の明暗や濃淡だけで
はなく、mɔ̀n（憂鬱な / スカッとしない）は悲しい、寂しい気持ちを起し、khlám（不鮮明
な / うす暗い）はその修飾する赤を不潔に感じさせる作用を含んでいる。

4.2. 修飾語は明確な意味を持たない語

下記の例 37～例 48 に見られる dɛɛŋ（赤）に後続している修飾語は単独で用いられる
と具体的な意味を持たない語であるが、dɛɛŋ（赤）に後続すると様々な状態の dɛɛŋ（赤）
を表す。

37/W chɔ̃ɔp pháap phúuyǐŋ phǐu sǐi dɛɛŋ rǔa-rǔa [赤い・淡い].

淡い赤（ほんのりと赤色）の肌の女性の写真が好きです。

38/W mǔa thùuk thǎam thǎŋ phúu-chaai thǐi khuang, ʔòɔm nǎa dɛɛŋ kám
[赤い・赤さを強調する語].

付き合っている彼氏のことを聞かれると、オーム（女性の名前）の顔は
dɛɛŋ kám（真っ赤）になった。

39/P ca thaa lép sǐi dɛɛŋ céet [赤い・赤さを強調する語] yanŋíi pai sòɔp
sámpháat rǔu.

dɛɛŋ céet（真っ赤な）マニキュアを塗ったまま面接試験を受けに行くの？

40/W cǐŋcòk pralaat, sǐi dɛɛŋ péet [赤い・赤さを強調する語] thǎŋ tua.

変わったヤモリだ。体全体が dɛɛŋ péet（真っ赤）だ。

41/I thəe maa nai chút sǐi dɛɛŋ chéet [赤い・赤さを強調する語], duu
rǔurǎa thiidiao.

彼女は dɛɛŋ chéet（真っ赤）なドレスで現れて、とても豪華に見える。

- 42/I satroobeerīi sīi dεεη chéet [赤い・赤さを強調する語], nāa kin caη.
イチゴは dεεη chéet (真っ赤) なので, とてもおいしそう。
- 43/I yāa súu sái-kròok sīi dεεη cěε [赤い・赤さを強調する語], phróʔ sài
sīi ʔantaraai léʔ wátthəʔ kan sīa súη kəen.
dεεη cěε (真っ赤) なソーセージを買わないでください。(体に) 害がある
着色や防腐剤を使いすぎているからです。
- 44/I naη ʔitchǎa nai rúη "doη phúu-dii "chóop thaa lípsatík sīi
dεεη cěε [赤い・赤さを強調する語].
「ドング・プーディー」というドラマの悪役の女性はいつも dεεη cěε (真っ赤)
な口紅を塗っている。
- 45/W práʔ-ʔaathít yaam cháa sīi dεεη cáa [赤い・赤さを強調する語] súai
máak, thàai rúup wái lǎai bai.
朝日が dεεη cáa (真っ赤) で, とてもきれいだった。たくさん写真を撮って
おいた。
- 46/W talàat hún púan, tua dεεη thùak [赤い・赤さを強調する語].
証券取引市場が dεεη thùak (真っ赤) で, 混乱している。
- 47/W fai lúk mái bán dεεη cháan [赤い・赤さを強調する語].
火事が発生して家を dεεη cháan (真っ赤) に燃やしている。
- 48/W dèk yǐη chaaο ʔiirák bai-nāa léʔ lam tua prəʔ púan lúat dεεη
cháan nǎη róηhái.....
顔や身体全体が dεεη cháan (真っ赤) な血に汚れているイラクの女の子た
ちが泣いていて.....

例 37 の dεεη rúa-rúa は頬, 唇などが本来もっているほんのりとした赤を表す場合に用いられ, きれいで, 健康的であるという評価も含意されている。例 38-48 の kəm, céet, péet, chéet, cěε, cáa, thùak, cháan は dεεη (赤) に後続すると, 「真っ赤」と日本語に訳すことができるように, 赤さが強調された表現である。kəm は, 怒り, 恥ずかしさ, 日焼けによって引き起こされる身体の赤さを強調する。dεεη céet, dεεη péet, dεεη cěε は「赤すぎる」のように度を越した人工的な赤さに対し, 話し手の非難的な気持を表す場合に用いられる。dεεη péet は dεεη préet⁸ から来たと思われ, 例 40 のように話し手の驚きや意外に思う気持を表す場合にも用いられる。dεεη cěε には, その色彩の使用者に対する, 悪意のある批判が含意されているものと思われる。dεεη chéet はきれいで, 豪華な赤, 野菜や果物なら美味しそうな赤, というようにプラス的な意味合いで用いられる。dεεη cáa は明かりや光の強さを強調する。

8 インフォーマントには, 年配の人では普段 dεεη péet ではなく, dεεη préet を用いると指摘する人もいれば, dεεη préet しか使っていないと指摘する人もいる。

dεɛŋ thɔ̀ak は目の前がほとんど赤いものばかりである状態を表す。dεɛŋ cháan は事件や事故のような場合に、大量にある、勢いがある、怖いや不吉なことを連想させる表現として用いられる。

(5) khǎo (緑)

5.1. 修飾語が明確な意味を持つ語

明白な意味を持つ修飾語に後続される khǎo (緑) の表現には、khǎo sòt (緑・新鮮 = 新鮮な緑、鮮やかな緑)、khǎo mòn (緑・くすんだ = くすんだ緑、グレーがかっている緑)、khǎo khlám (緑・不鮮明な / うす暗い = 茶色がかかった緑)、khǎo ʔòɔn (緑・弱い / 柔らかい = 薄緑)、khǎo kɛ̀ɛ (緑・老いた / 熟した = 濃い緑)、khǎo khém (緑・濃い = 濃くて深みがある緑) がある。それらの表現が用いられる例を見てみる。

49/L tákkatɛɛn tua lék lék...., pen tákkatɛɛn tua sǐi khǎo ʔòɔn
[緑・弱い / 柔らかい] khláai sǐi tón-kháao.

小さなバツタ...., それらのバツタは稲の色のような薄い緑色です。

50/L mɔɔŋ klai kraproɔŋ khǔɔŋ phǐi ʔòɔk sǐi khǎo khém [緑・濃い], mɔɔŋ
klái ʔòɔk sǐi mɔɔrakòt.

遠いところから見れば彼女のスカートは濃くて深みがある緑 (濃い緑) ですが、近づいて見るとエメラルドの色です。

51/W nóɔŋ-sǎao pen ɲuak sǐi khǎo khlám [緑・不鮮明な / うす暗い], tɔɔnníi
ráksǎa yùu thǐi khanáʔ thantakam mahǐʔdon.

妹の歯茎はうす暗い緑 (くすんだ緑, 茶色がかかった緑) で、今マヒドン大学の歯学部 (附属病院) で治療を受けている。

5.2. 修飾語は明確な意味を持たない語

下記の例 52 ~ 例 58 に見られる khǎo (緑) に後続している修飾語は通常、単独では用いられず、具体的な意味を持たない語である。しかし、それらの語が khǎo (緑) に後続すると khǎo (緑) のある特定の状態を表すようになる。

52/P lǔak máak, mɛ̀ɛ-kháa mɔɔŋ taa khǎo pát [目・緑・緑を強調する語].

あまり選んだので、店のおばさんは taa khǎo pát (真緑の目 = 激怒の眼) をしてにらみつけた。

53/W cɔɔrakhéɛ phúak níi khɔŋ mái dái ʔàap náam maa naan, takhráii
khún khǎo ʔúu [緑・緑を強調する語] ləei.

これらのワニはおそらく長い間お風呂に入れてもらっていない。体中に khǎo ʔúu (真緑) の苔がいっぱい生えている。

54/I nám phák sǐi khǎo pǐi [緑・緑を強調する語], tháathaɔŋ khǔm.

野菜ジュースは khǎo pǐi (真緑色) なので、苦そう。

55/P kamlaŋ ca thaan yùu léεo, hǎn nǒn tua khǎo ʔǐi [緑・緑を強調する語] kadúp kadúp yùu nai phak, læi hǎi yàak thanthii.

食べようとしたんですが、khǎo ʔǐi (真緑) の虫が野菜の中で動いているのを見たら、途端に食べる気がなくなった。

56/P khun taa ʔaayúʔ ca cèt sǐp léεo, yaŋ khàp rót sǐi khǎo prǎn [緑・緑を強調する語] læi.

おじいさんはもうすぐ70歳になるのですが、まだ khǎo prǎn (すごく派手な緑色) の車を運転している。

57/P nísǎa sǎi kaŋkeŋ yiin sǐi khǎo prǎε [緑・緑を強調する語] pai mahǎawítthayaalai, khon mɔŋ pen taa diao.

ニサー (女性の名前) は khǎo prǎε (すごく緑色) のジーパンを履いて大学へ行ったので、注目を浴びた。

58/P sàŋ hǎi thaa sǐi rǐap rǐap, tɔn yen klàp bǎan hǎn rúa sǐi khǎo prǎεt [緑・緑を強調する語], tòk cai læi.

地味な色を塗るようにと頼んだが、夕方に帰ったら khǎo prǎεt (すごく緑色) の塀になっていて驚いた。

khǎo pát は例 52 のように、怒りの目として比喩的な意味合いで用いられる一方、外傷による身体状態の変化 (主に目) の色も表す。khǎo ʔǐi, khǎo pǐi, khǎo ʔǐi は、主に野菜、植物の葉、虫、鳥など、自然の持つ緑色を示す場合に用いられる。khǎo ʔǐi は様々な対象や場面で幅広く用いられるが、khǎo pǐi と khǎo ʔǐi は見ると不愉快な気持ちにさせられるような緑である。khǎo pǐi は口に入れると苦く感じるような飲み物、野菜、果物、食べ物の緑を指す場合に用いられ、khǎo ʔǐi は触れたくない気持ちの悪い緑を表す場合に用いられる。khǎo prǎn, khǎo prǎε, そして khǎo prǎεt は主に、服、車、傘など、人工的な物の緑色を示す。khǎo prǎn と khǎo prǎε はその色の使用者の大胆さ、そして、khǎo prǎεt は話し手が感じた不思議さや驚きを表す。それ以外に、khǎo cǐi という表現も見られるが、一般的な表現ではないとの指摘がインフォーマントよりあったため、ここでは検討の対象外とする。

(6) lǎŋ (黄)

6.1. 修飾語が明確な意味を持つ語

lǎŋ ʔɔn (黄・柔らかい / 弱い = 薄い黄), lǎŋ kɛε (黄・老いた / 熟した = 濃い黄), lǎŋ khém (黄・濃い = 濃くて深みがある黄), lǎŋ mɔn (黄・憂鬱な / スカッとしない = くすんだ黄色), そして lǎŋ ʔaraam (黄・光り輝く / 照り映える = 美しく輝いている黄色) という表現が見られる。

59/W pen pháap hèn khwaam-rák nai khuun phráʔ-can sǐi lǎŋ mòn [赤い・憂鬱な / スカッとしない].

憂鬱な黄色（くすんだ黄色）の月がある夜。愛の景色である。

60/D dòok pradùu baan lǎŋ ʔaràam [黄・光り輝く] tháŋ tón.

インドカリンの木のすべての花が光り輝く黄色（目も覚めるような黄色）に開花した。

lǎŋ mòn（黄・憂鬱な / スカッとしない）は黄色の色合いだけではなく、その色を表現する人の寂しさや憂鬱な気持も含まれている。lǎŋ ʔaràam（黄・光り輝く / 照り映える = 美しく輝いている黄色）は目の前一面が黄色で、目に眩しいほどに輝いていて、好印象の黄色であることを表す。

6.2. 修飾語は明確な意味を持たない語

下記の例 61～例 64 のように lǎŋ ʔǒi, lǎŋ cǒi, lǎŋ cáa という表現がある。

61/W phǒm mii plaa chiroo sǒŋ tua.hǔa lǎŋ tháŋ sǒŋ tua tɔon sǔu.
tɔon níi tua mia hǔa khǎao léεo,tèε tua phúu yan lǎŋ cǒi
[黄・黄を強調する語] mǎn deem.

私は「チロウ」という魚を二匹持っています。買ったときは二匹とも頭が黄色でした。今は、メスの頭は白くなったが、オスは相変わらず lǎŋ cǒi（真っ黄色）です。

62/W pen náŋsǔu thǐi hǎa yáak,kradaat kào kròop lǎŋ ʔǒi [黄・黄を強調する語] leei.

なかなか手に入らない本で、紙がぱりぱりで lǎŋ ʔǒi（真っ黄色）です。

63/P khráap níu lǎŋ ʔǒi [黄・黄を強調する語] yanǵíi,sǒŋsǎi ca sùup burǐi càt.

指があんなに lǎŋ ʔǒi（真っ黄色）になっているのは、煙草をたくさん吸っているからでしょう。

64/P dòok thaan-tawan baan tem thúŋ,sǐi lǎŋ cáa [黄・黄を強調する語].

向日葵の花が野原でいっぱい咲いていて lǎŋ cáa（真っ黄色）になっている。

lǎŋ ʔǒi と lǎŋ cǒi は消えてほしいがしみついてしまった、望まれない色合いであることを強調し、話し手の不満や非難的な気持が含意される場合もある。lǎŋ cáa は昼間の日差しが眩しいときのような、黄色の明るさを強調する。

(7) chomphuu (ピンク)

7.1. 修飾語が明確な意味を持つ語

chomphuu (ピンク) に後続する修飾語は chomphuu ʔɔ̀n (薄いピンク), chomphuu kɛ̀ɛ (濃いピンク), chomphuu khém (濃くて深みがあるピンク) に見られるように, ʔɔ̀n (柔らかい/弱い), kɛ̀ɛ (老いた/熟した), そして khém (濃い) しかない。

7.2. 修飾語は明確な意味を持たない語

下記の例 65 のように, chomphuu pɛ̀ɛn という表現が見られる。人工的なピンク色であり, 度を越した色合いを用いる使用者に対する話し手の非難の気持が含意されている。

65/P khañom khéek sǐi chomphuu pɛ̀ɛn [ピンク・ピンクの状態を強調する語]
yaŋgán, chán mái kláa kin rɔ̀k, klua.

私は, あのようなすごいピンク色のケーキは食べる気にならない, 怖い。

(8) sóm (オレンジ)

8.1. 修飾語が明確な意味を持つ語

sóm (オレンジ) に後続する修飾語は ʔɔ̀n (柔らかい/弱い) と kɛ̀ɛ (老いた/熟した) しかない。

8.2. 修飾語は明確な意味を持たない語

下記の例 66 のように, sóm péet という表現が見られる。その sóm (オレンジ) の派手さを強調し, 話し手の驚きや困惑の気持を含意している。

66/W páai sǐi sóm péet [色・オレンジ・オレンジ色の状態を強調する語], du
léeo sɛ̀ɛp taa ciŋ ciŋ.

看板の色は sóm péet (派手なオレンジ色) なので, 見ると本当に目が痛くなる。

(9) nám-ŋɛn (青), nám-taan (茶), múaŋ (紫), thao (グレー)

nám-ŋɛn (青), nám-taan (茶), múaŋ (紫), そして thao (グレー) に後続する修飾語は ʔɔ̀n (柔らかい/弱い), kɛ̀ɛ (老いた/熟した), そして khém (濃い) といった明確な意味を持つ語しかない。他の色彩語のように明確な意味を持たない語に後続され, それらの色の色合いなどを強調する表現は見られない。

3. 色彩の修飾語とその生み出された意味

例文を取り上げながら修飾語に後続される色彩語の意味, そして, それらの含意を説明

した。ここでは、それぞれの修飾語が色彩語に後続することにより生み出された意味をまとめたい。

(1) 色彩の色合い、および色合いの強調

基本色彩語に ʔɔɔn (柔らかい / 弱い) と caaŋ (うすれた / あせた) が後続すると「薄い～」、kɛɛ (老いた / 熟した) が後続すると「濃い～」、khêm (濃い) が後続すると「濃くて深みがある～」といった色彩の濃淡を表すようになる。ʔɔɔn (柔らかい / 弱い)、kɛɛ (老いた / 熟した)、khêm (濃い) は dam (黒) と khǎao (白) 以外のすべての色彩語そして sǐi (色) に後続するが、caaŋ (うすれた / あせた) は sǐi (色) しか修飾しない。múut (暗い)、sawàaŋ (明るい)、sòt (新鮮な)、thum (くすんだ / 沈んだ / 陰った)、khlám (不鮮明な / うす暗い)、mòn (憂鬱な / スカッとしない)、càt (極端な / 厳しい) が後続すると色彩の明暗の意味合いを表すが、múut (暗い) と sawàaŋ (明るい)、thum (くすんだ / 沈んだ / 陰った)、càt (極端な / 厳しい) は sǐi (色) しか修飾しない。sòt (新鮮な)、khlám (不鮮明な / うす暗い)、mòn (憂鬱な / スカッとしない) は sǐi (色)、dɛɛŋ (赤)、khǎao (緑) に後続する。そして、mòn (憂鬱な / スカッとしない) はさらに khǎao (白) と lǎaŋ (黄) にも後続する。また、sǐi (色) には「chùutchaat, cɛɛt, cíit cíit, cáap cáap, prɛɛn prɛɛn」, dam (黒) には「pǎy, pǐi, pítpǐi, mítmǐi, míam, máʔmíam, khláp, pút, púutpúu」, khǎao (白) には「wóok (猿), plòt (すべて～ばかりの), phlooŋ (明か明かと), phòŋ (汚れのない), róo (遠くからはっきりと見える), cúaʔ」, dɛɛŋ (赤) には「kàm, cɛɛt, pɛɛt, cáa, thùak, cháan, cɛɛ, prɛɛt, chɛɛt」, khǎao (緑) には「pát, ʔǎy, pǐi, ʔii, prɛɛ, prɛn, prɛét」, lǎaŋ (黄) には「cáa, ʔɔɔi, cɔɔi」, chomphuu (ピンク) には「prɛɛn」, sóm (オレンジ) には「pɛɛt」が修飾すると、色彩の濃さ、純粹さ、そして明暗が強調される。

(2) 色彩が見られる具体的な状況

「cáap cáap」は sǐi (色) を、「mítmǐi, míam, máʔmíam, khláp, pút, púutpúu」は dam (黒) を、「sǎi (透明な), sít (青ざめた), nuan (クリームのような), wóok (猿), plòt (すべて～ばかりの), phlooŋ (明か明かと), phòŋ (汚れのない), róo (遠くからはっきりと見える), cúaʔ」は khǎao (白) を、「rúa-rúa (淡い), kàm, cáa, thùak, cháan」は dɛɛŋ (赤) を、「pát」は khǎao (緑) を、そして「cáa と ʔaraam (黄・光り輝く)」は lǎaŋ (黄) を修飾すると、それぞれの色彩の色合いは、一般的に用いられるわけではなく、たとえば、例 20 の dam khláp (真っ黒) はつやのある髪の毛と目の黒さ、例 25 の khǎao sít (真っ白) は血色の悪い不健康な肌の白さ、例 47 と例 48 の dɛɛŋ cháan (真っ赤) は事件や事故のような場合に、大量の血液や、勢いが強い炎の赤さ、といった特定のもの、または出来事における限定的、かつ具体的な状況で見られる色彩を示す場合にしか用いられない。

(3) 色彩における感覚およびそれに対する感情などの意味合い

ある特定の修飾語がある特定の色彩語に後続すると、その色彩によって引き起こされる暖かい、冷たい、沁みる、甘いなどのような感覚およびそれらの色合いに対する話し手の称賛、非難、驚きといった感情、また度を越えて相応しくないと判断、評価、または個人の価値観が表示される場合が多く見られる。たとえば、例7と例9の *sǐi prǐao* (大胆な色) と *sǐi cíit cíit* (派手な色) は、明度と鮮度が高い色というだけではなく、話し手の目に映る色彩は強い酸味のあるものを食べたときの感覚を連想させるような、その色の使用者の勇気や大胆さも見られる。例2の *sǐi chùtchàat* (派手な色) はある物や状況にとって相応しくない、度を越えているとの評価が表されている。例14の *dam pǔu* (真っ黒) は不潔を含意する黒さ、例40の *dεεη péet* (真っ赤) は不思議さ、驚きを含意している赤、という意味合いなどが表される。この種の意味合いを持たせる修飾語は、*sǐi* (色), *dam* (黒), *khǎao* (白), *dεεη* (赤), *khǐao* (緑), *lǔaη* (黄), *chomphuu* (ピンク), そして *sóm* (オレンジ) に後続するものに見られるが、*nám-ηen* (青), *nám-taan* (茶), *múaη* (紫), そして *thao* (グレー) に後続するものには見られない。*sǐi* (色) には、「*mòn* (憂鬱な/スカッとしない), *rǐap* (平らな), *cùut* (味気ない/あっさりとした), *wǎan* (甘い), *prǐao* (酸っぱい), *cèp* (痛い), *sèep* (沁みる), *chùtchàat* (派手な), *céet*, *cíit cíit*, *cáap cáap*, *céet*, *prěn prěn*」が後続する。*dam* (黒) には、「*pǔu*, *pǐi*, *pút*」, *khǎao* (白) には、「*mòn* (憂鬱な/スカッとしない), *wók* (猿), *phòη* (汚れのない)」, *dεεη* (赤) には、「*mòn* (憂鬱な/スカッとしない), *céet*, *péet*, *chǎan*, *cěe*, *préet*, *chéet*」, *khǐao* (緑) には、「*pát*, *ʔǔu*, *pǐi*, *ʔǐi*, *prěe*, *prěn*, *préet*」, *lǔaη* (黄) には、「*ʔóoi*, *cóoi*, *cáa*」, *chomphuu* (ピンク) には「*pěen*」, *sóm* (オレンジ) には「*péet*」が後続する。

多くの色彩の修飾語がそれぞれの色彩語に後続すると、日本語の「真～」と訳すことが出来る。そして、たとえば、*dám dam* (真っ黒), *kháao khǎao* (真っ白), *déεη dεεη* (真っ赤), *khǐao khǐao* (真緑), *lǔaη lǔaη* (真黄色) などのような反復表現も同じように「真～」と訳せる。しかし、反復表現は色彩の色合いは強調するが、修飾語のように色彩の状態や話し手の感情などを示す具体的、限定的な意味合いを持たせることはない。

修飾語、色彩語、そしてそれぞれの修飾語によって引き起こされる意味合いをまとめると表1のようになる。

表 1: 色彩修飾語表現とその含意

修飾語	色彩語	引き起こされる意味合い				
		色合い	色合いの強調	具体的な状況	称賛, 非難, 驚き, 評価, など	
明確な意味を持つ語	<ul style="list-style-type: none"> — sǐi (色) — dɛɛŋ (赤) — khǐao (緑) — lǔaŋ (黄) — chomphuu (ピンク) — sóm (オレンジ) — nám-nɛn (青) — nám-taan (茶) — múaŋ (紫) — thao (グレー) 	●				
	<ul style="list-style-type: none"> — sǐi (色) — dɛɛŋ (赤) — khǐao (緑) — lǔaŋ (黄) — chomphuu (ピンク) — sóm (オレンジ) — nám-nɛn (青) — nám-taan (茶) — múaŋ (紫) — thao (グレー) 	●				
	caaŋ (うすれた / あせた)	sǐi (色)	●			
	<ul style="list-style-type: none"> — sǐi (色) — dɛɛŋ (赤) — khǐao (緑) — lǔaŋ (黄) — chomphuu (ピンク) — sóm (オレンジ) — nám-nɛn (青) — nám-taan (茶) — múaŋ (紫) — thao (グレー) 	●				
	mét (暗い)	sǐi (色)	●			
	sawaŋ (明るい)	sǐi (色)	●			
	<ul style="list-style-type: none"> — sǐi (色) — dɛɛŋ (赤) — khǐao (緑) 	●				
	thum (くすんだ / 沈んだ / 陰った)	sǐi (色)	●			●
	<ul style="list-style-type: none"> — sǐi (色) — dam (黒) — dɛɛŋ (赤) — khǐao (緑) 	●		●		
	<ul style="list-style-type: none"> — sǐi (色) — khǎao (白) — dɛɛŋ (赤) — khǐao (緑) — lǔaŋ (黄) 	●			●	
	cát (極端な / 厳しい)	sǐi (色)	●			
	yen (涼しい / 冷たい)	sǐi (色)	●			
	ʔùn (暖かい)	sǐi (色)	●			
	sǎi (透明な)	khǎao (白)	●		●	

明確な意味を持つ語	sít (青ざめた)	khǎao (白)	●		●		
	nuan (クリームのような)	khǎao (白)	●		●		
	wóok (猿)	khǎao (白)		●	●	●	
	plóot (すべて/ばかりの)	khǎao (白)		●	●		
	phloon (明か明かと)	khǎao (白)		●	●		
	phòŋ (汚れない)	khǎao (白)		●	●	●	
	róo (遠くからはっきりと見える)	khǎao (白)		●	●		
	rúá-rúá (淡い) ————	deŋ (赤) chomphuu (ピンク)	● ●		● ●	● ●	
	ƣaraam (光り輝く)	lǎŋ (黄)		●	●	●	
	ríap (平らな)	sǐi (色)	●			●	
	rɛɛŋ (強い)	sǐi (色)	●			●	
	cùut (味気ない/あっさりとした)	sǐi (色)	●			●	
	wǎan (甘い)	sǐi (色)	●			●	
	príao (酸っぱい)	sǐi (色)	●			●	
	cɛp (痛い)	sǐi (色)		●		●	
	sɛɛp (沁みる)	sǐi (色)		●		●	
	chùutchaat (派手な)	sǐi (色)		●		●	
	明確な意味を持たない語	céet ————	sǐi (色) deŋ (赤)		● ●		● ●
		cítcít	sǐi (色)		●		●
cáap cáap		sǐi (色)		●		●	
prɛɛn (prɛɛn) /pɛɛn ————		sǐi (色) khǎao (緑) chomphuu (ピンク)		● ● ●		● ● ●	
púu		dam (黒)		●		●	
pǐi		dam (黒) khǎao (緑)		● ●		● ●	
pítpǐi		dam (黒)		●		●	
mítmǐi		dam (黒)		●	●		
mǎam		dam (黒)		●	●		
máʔmǎam		dam (黒)		●	●		
khlap		dam (黒)		●	●		
pút		dam (黒)		●	●	●	
púutpúu		dam (黒)		●	●		
cúaʔ		khǎao (白)		●	●	●	
kam		deŋ (赤)		●	●	●	
péet/préet ————		deŋ (赤) sóm (オレンジ)		● ●		● ●	
cáa ————		deŋ (赤) lǎŋ (黄)		● ●	● ●		
thùak		deŋ (赤)		●	●		
chǎan		deŋ (赤)		●	●		
cɛɛ		deŋ (赤)		●		●	
chéet		deŋ (赤)		●	●	●	
pát		khǎao (緑)		●	●	●	
ʔúu		khǎao (緑)		●		●	
ʔǐi		khǎao (緑)		●		●	
prɛɛ		khǎao (緑)		●		●	
ʔóoi		lǎŋ (黄)		●	●	●	
cóoi		lǎŋ (黄)		●	●	●	

4. 色彩の修飾語の語彙的性質

明確な意味を持つ 31 語、と明確な意味を持たない 27 語の修飾語が、それぞれの色彩語に後続すると、単に色合いのみを表す語は 10 語 (約 17%) しかない。48 語 (約 80%) の色彩の修飾語表現は、色合いが強調されるだけでなく、その色彩の見られる具体的な状況、人々の感覚、感情、評価、価値観などの含意が見られる。そして、それらの含意を持たせる修飾語の中には、それ自体では明確な意味のない語は 27 語もある。その 27 語の中の 20 語の声調は高平調または上昇調 (二音節の語は高平調 + 上昇調の場合もある) の語である。普段、感嘆詞に多く見られる高平調と上昇調の言葉は、色彩語に後続する際にも、人々の意図、感情、感覚を強調する。27 語の中の 16 語は、色彩の派手さを強調するために用いられる c (7 語) と p (9 語) という無気音の頭子音によって構成されている語である。タイ語では、音や何かの状態が大きくて強いという印象を与える語には、無気音の頭子音 c と p から始まる言葉が多く見られる。たとえば、「cāk cāk (土砂降りの雨音)」、「cúut (ばあっと)」、「cāan (非常に、とても、はなはだ)」、「cām (素早く、頻繁に行う動作)」、「cǐi (激しい、きつい、甚だしい)」、「cáak (痛みや驚きを感じたときに出した声の大きさ)」、「póoŋ (大きい、ピストルの音)」、「páap (パーンと強く叩く音)」、「póok (金づちで板をたたくような音、硬さを強調する語)」、「priāŋ (落雷の音)」、「péŋ (大きい)」、「péek (カチカチ<物の硬さを強調する語>)」、など。色彩の修飾語表現でも c と p が色彩の派手さや人々の感情における勢力を表す子音として用いられる。さらに、「-éet」、「-ěε」、「-ěen」、「-ǐi」といった韻によって構成された語も多く含まれている。色彩以外の修飾語として用いられる場合のそれぞれの韻の持つイメージと使われ方を見ると、「-éet」は、たとえば、「tawàat wéet (怒鳴る・怒鳴り声を強調する語)」であれば、誰かが突然「怒鳴った」ことでもとて驚かされた話し手の気持が含意されている。「-ěε」は、たとえば、「chěε (公表する、暴露する)」、「wěε (かん高い声を張り上げて叱る様)」に見られるように、話し手が、意図的に表出される動作主の積極的な言動を感じていることが表されている。それに対し、「-ěen」は、たとえば、「cěen (出しゃばる、わざわざ~する)」、「lěen または lěn (出しゃばる)」に見られるように話し手がその動作主の積極的な言動に対し、非難する感情が含意している。そして「-ǐi」は、たとえば、「cǐi (酸味または辛さが強すぎることを強調する語)」、「yǐi (気持が悪いことを示す感嘆詞)」に見られるように、嫌悪の情や感覚、吐き気を催すような不快感を表す。それ以外に、「-áa」、「-út (または -út)」、「-úut」、そして「-ǒoi」も語彙数が少ないものの同様の傾向が見られ、そこにもタイ人が持っている音表象が表されている。「-áa」は、たとえば、「sáa (無茶をする、威張る、派手な行動をとる)」に見られるように、動作主が意図しているか否かに関わらず、話し手から見て、度を越した行為であると感じていることが表されている。「-út (または -út)」には「hút (全力を結集してぶつかる)」のように、力強い、忍耐強い、思い切りがいい、勢いがある、「-úut」には「yúut (伸ばす)」のように、一面に広がる状態、そして「-ǒoi」には「thǒoi (後退する)」のように、気持が後ろ向きや、元気の無さといった含意がある。色彩の修飾語表現における「-éet」、「-ěε」、「-ěen」、

[-ĩi], [-âa], [-ût], [-ûut], そして [-õoi] という韻によって構成された言葉においてもそのような状態, 感覚そして感情の含意が見られる。言葉の意味が明確ではないにもかかわらず, それぞれの子音, 韻または声調の特徴が利用され, それぞれの色彩の状態が強調されるだけでなく, 話し手の意志や意識なども含意されているのは明らかである。

本論で取り上げた修飾語の中には, 色彩語にしか後続しない語もあれば, 色彩語以外の言葉にも後続すると見られる語もある。色彩語にしか後続しない語は 35 語ある。それに対し, 色彩語以外の言葉も修飾する語は 23 語ある。色彩語しか修飾しない語の中には, mûut (暗い), sawaŋ (明るい), thəm (くすんだ/沈んだ/陰った), sǎi (透明な), sǎit (青ざめた), nuan (クリームのような), phòŋ (汚れのない), ʔaraam (光り輝く), chùutcháat, pǔu, pítpǐi, mítmǐi, mǐam, máʔmǐam, khlàp, pút, pǔutpǔu, cúaʔ, kàm, thùak, cháan, cǎe, chéet, pát, ʔǔu, ʔǐi, prǎe, ʔõoi, cõoi といった 29 語は複数の色彩語ではなく, ある特定の色彩語にしか後続せず, それぞれの色彩における特定の色の状態しか表さない。

色彩語以外の言葉にも後続する 23 語の修飾語の中で, 13 語は元々どの感覚の分野の言葉であるか明らかではない。たとえば, kǎe (老いた/熟した), khém (濃い), càt (極端な/厳しい), は rôt (味) の修飾語としても用いられる。pǐi は khóm pǐi (すごく苦い) や khem pǐi (すごく塩辛い) のように, khóm (苦い), と khem (塩辛い) にも後続しその味覚を強調する。cǐit は痛みと酸味を表す言葉も修飾する。sǎi (透明な) は sǎŋ sǎi (透き通った声) のように sǎŋ (声) も修飾する。そして cõoi は wǎan (甘い) にも後続し wǎan cõoi (非常に甘い) という形で, 甘さを強調する語としても用いられる。元来明らかに他の感覚の分野の言葉だと思われる 10 語を見ると, ʔón (柔らかい), rǐap (平らな), rǎeŋ (強い), cǎp (痛い), sǎep (沁みる), ʔùn (暖かい), yen (涼しい, 冷たい) は触覚の分野の言葉であり, そして, wǎan (甘い), prǐao (酸っぱい), cùut (味気ない/あっさりとした) は味覚の分野の言葉である。このように色彩の色合いを表現するのに, 他の感覚の分野の言葉が比喩的に用いられることは, Williams J.M. [1976] によって指摘された「共感覚的比喩 (Synaesthesia)」といった比喩転用 (Metaphoric Transfer) がタイの色彩の修飾語表現にも見られることは確認出来た。しかし, 味覚の分野の言葉から直接視覚語に転用されることがないという Williams J.M. の指摘と異なり, タイ語においては触覚語から色彩語に, そして色彩語から聴覚語にだけでなく, 味覚語から色彩語にも直接転用されることがあることは明らかである。そして, 比喩的転用 (Metaphoric Transfer) の方向は一方向的であり, 色彩語から味覚語に転用されることがないという Williams J.M. の主張の通りであるならば, 元々どの分野の言葉であるか明らかではない色彩語の修飾語として用いられている khém, càt, pǐi, cǐit, cõoi のような語は味覚語の修飾語としても用いられているところから, それらの言葉は元々味覚の分野の言葉であり, 色彩の分野に転用されていると推測することも出来るだろう。

5. 色彩修飾語の語彙意味の特徴およびそこに見られるタイ人の色彩に対する意識や認識

タイ語には、色彩語に後続する修飾語が多くあるだけでなく、それぞれの語が示す意味合いも多種多彩である。その修飾語には、ほぼすべての色彩語の修飾語として用いられる *ʔón* (柔らかい / 弱い) や *kɛɛ* (老いた / 熟した) のように、色彩語だけではなく他の分野の言葉にも後続する語は多くあるが、それよりも *ʔaraam* (光り輝く), *chùutcháat*, *khlàp*, *cúaʔ*, *kám*, *cháan*, *cɛɛ*, *ʔi* のように、色彩語またはある特定の色彩語にしか後続しない語の方がより多くある。そして、それらの修飾語は色彩語に後続すると、単純な色合いを持たせるだけの語もあるが、それよりもそれぞれの色彩が見られるものや出来事の具体的な状態や状況、使用者の心理、およびそれに対する話し手の個人的な精神状態、感覚、評価そして価値観などの意味合いを持たせる語の方が多数を占めている。これらの現象にはタイ人の色彩に対する意識が表されていると考えられる。つまり、タイ人の色彩に対する意識は色合いのみならず、それぞれの色彩の使用者の意図、色彩が示す特定の場面や状況、それらに対する話し手の感覚や感情にまで及んでいるということである。そして、それぞれの状況における人の意図、感覚、引き起こされる感情、評価、価値観も、色合い同様、色彩の修飾語を通して示される。そこに、明確な意味を持つ修飾語がなければ、タイ語の音韻表象性に従った修飾語によって示されている、と推論することが出来るだろう。そして、それら様々な意味合いを持つ修飾語が *múaj* (紫), *nám-taan* (茶), *chomphuu* (ピンク), *sóm* (オレンジ), *nám-nɛn* (青), そして *thao* (グレー) よりも, *dɛɛŋ* (赤), *khǐao* (緑), *khǎao* (白), *dam* (黒), *lǔaj* (黄) に多く後続していることが明らかになったことで、宮本 [2010] の指摘したタイ人の色彩に対する認識の展開及び意識や関心の深さを改めて確認することが出来た。

また、*sǐi sèep* (沁みている色) や *sǐi wǎan* (甘い色) などのような表現に見られるように、*sèep* (沁みる) という触覚や *wǎan* (甘い) という味覚が比喩的に用いられることにより、色彩は視覚を通して認識するが、その際、触覚や味覚といった別の感覚をも通して認識することもあるということはタイ人の色彩に対する認識の特徴だと考えられるだろう

6. おわりに

本論では、色彩語の修飾語には具体的な意味を持たない語が多く見られることが確認できた。そして、その中のほぼすべてはオノマトペア (Onomatopoeia) であると推測することもできる。故に、オノマトペア (Onomatopoeia) の観点から色彩語の修飾語を分析すれば、タイ人の色彩の表現における音韻表象の特徴も明らかになるのではないかと考えている。さらに、*sǐi yen* (涼しい色 = 寒色) や *sǐi wǎan* (甘い色 = パステルカラー) などのような表現に見られるように、他の分野の言葉が色彩語に比喩転用 (Metaphoric Transfer) されることも多く見られた。しかし、それとは逆に、たとえば、*sǎŋ sǎi* (透明な声 = 透き通った声) という表現に見られるように本来色彩の分野の言葉である *sǎi* (透

明な)は聴覚の分野の言葉である *sǎŋ* (声, 音) の修飾語としても用いられるように、色彩語が他の分野の言葉に比喻転用されるといった現象がどの程度見られるのか、また、Lyons が指摘したように、一般的に用いられる英語の修飾語 (形容詞) には「色がある (having colour)」または「色が無い (colourless)」といった意味合いの言葉がないという現象はタイ語にも見られるかどうかという点も興味深く、今後の課題としたい。

★ 修飾語の細かな意味合いの使い分けや例文作成には、チュラーロンコーン大学の名誉教授ナワワン・パントユメーター先生、チェンマイ大学文化人類学部のルンアルン・ティーカチュンハティアン先生、シラパーコーン大学文学部のソムチャイ・サムニアンガーム先生、ワイラット・シリラタナナーウィン先生、および他2名の先生方、ホーガンカー大学のチャルナン・タナサーンソムバット先生、友人のベンチャワン・ノンティワタナグン、大阪大学言語文化研究科のシリワン・ムニンタラウオング、クナット・ソムチャナキットさん達の協力と助言をいただいた。ここに記して謝意を表します。

参考文献

- 風見明, 1997, 『色の文化誌』, 工業調査会, 東京.
- 国広哲弥, 1989, 「五感を表す語彙—共感覚比喩的体系」, 『言語』 18, No. 11, 大修館書店, 東京, pp. 28—31.
- 武井邦彦, 1989, 「色彩と形態と言語」, 『言語』 18, No. 11, 大修館書店, 東京, pp. 38—45.
- 富田竹二郎, 1990, 『タイ日辞典』, 養徳社, 天理.
- 宮本マラシー, 2010, 「タイ語における色彩表現の意味的特徴」, 『大阪大学世界言語研究センター論集』 第2号, 大阪大学世界言語研究センター, 大阪, pp. 35—64.
- Berlin, Brent and Kay, Paul, 1968 (paperback ed., 1999), *Basic Color Terms: Their Universality and Evolution*, CSLI Publications, California.
- Gage, John, 1995, “Colour in Culture”, in Lamb, Trevor and Bourriau, Janine (ed.), *Colour: Art & Science*, Cambridge University Press, Cambridge, pp. 175—193.
- Lyons, John, 1995, “Colour in Language”, in Lamb, Trevor and Bourriau, Janine (ed.), *Colour: Art & Science*, Cambridge University Press, Cambridge, pp. 194—224.
- Williams, J.M., 1976, “Synaesthetic Adjectives: a Possible Law of Semantic Universals” in Bright, William (ed.), *Language: Journal of the Linguistic Society of America*, Vol. 52: 2, Waverly Press, Baltimore, pp. 461—478.
- ราชบัณฑิตยสถาน, 2003, *พจนานุกรมฉบับราชบัณฑิตยสถาน พ.ศ.2542*, นานมีพับลิชชีง, กรุงเทพฯ.

色彩修飾語の出所である文学作品:

- เทศ จินนระ, 1993 “คุณนายมะลิวัลย์” ใน สุชาติ สวัสดิ์ศรี (บก.) *ก้านต้อดอก*, ขวางวรรณกรรม, กรุงเทพฯ, p. 55.
- นรินทร์ นวลปลั่ง, 1993 “รักของแม่” ใน สุชาติ สวัสดิ์ศรี (บก.) *ก้านต้อดอก*, ขวางวรรณกรรม, กรุงเทพฯ, p. 85.

色彩修飾語の出所である Web:

1. <http://atcloud.com/stories/874>
2. <http://board.dserver.org/j/jjbook9/00000279.html>
3. http://club.myfri3nd.com/indy_club/webboard/3715/12044

4. <http://conanthekop.spaces.live.com/>
5. <http://dara.hunsa.com/detail.php?id=16879>
6. <http://dek-d.com/board/view.php?id=951896>
7. <http://dek-d.com/board/view.php?id=1265107>
8. <http://guru.google.co.th/guru/thread?tid=0b0319d88514262d>
9. <http://guru.sanook.com/answer/question/>
10. <http://health2u.exteen.com/20090401/entry-4>
11. <http://hilight.kapook.com/view/29796>
12. http://my.dek-d.com/_-poppap-3-/board/?page=6
13. <http://news.bluegy.com/5531/>
14. <http://news.clipmass.com/story/>
15. <http://news.giggog.com/cat12/ขวัญกระเจิง/17296.html>
16. http://news.giggog.com/cat2/อยุ่เดือนอยุ่ชาชื่อใส่สรอกแดงแจ๋ใส่สีอันตราย_วัตตุกันเสยสูงเกิน/8857.html
17. <http://rome.exteen.com/20080219/entry>
18. <http://randomboy.exteen.com/20090124/i>
19. http://shopping.sanook.com/buy/buy_detail.php?nitemID=4468139
20. <http://stylelurf.com/inspirations/>
21. <http://talk.mathai.com/topic/73727>
22. <http://th.wikipedia.org/wiki/>
23. <http://th.w3dictionary.org/index.php?q==คำนี้้อ ->
24. http://th.88db.com/th/Knowledge_Detail.page/Fashion-Accessorids/?kid=7110642
25. <http://xchange.teenee.com/index.php?showtopic=52715&mode=threaded&pid=725183>
26. http://vip.212cafe.com/viewcomment.php?aID=700792&user=scania&id=1597&page=2&page_limit=50
27. <http://webboard.yenta4.com/topic/313082?p=3>
28. <http://women.kapook.com/view1405.html>
29. http://www.dt.mahidol.ac.th/Dentistonline/index.php?option=com_joomlaboard&func=view&id
30. http://www.khonshop.com/board_view.php?category_id=4&id=9525
31. <http://www.koi-keeper.net/index.php?topic=448.0>
32. <http://www.moohin.com/102travel/002.shtml>
33. <http://www.nationchannel.com/detailnews.php?newsid...>
34. <http://www.oknation.net/blog/print.php?id=64319>
35. <http://www.plazathai.com/show-169369.html>
36. <http://www.pramool.com/cgi-bin/dispitem.cgi?6355842>
37. http://www.sritown.com/webboard/answer_view.php?id_top=4272&mode=3
38. <http://www.thaidphoto.com/forums/archive/index.php?t-3747.html>
39. <http://www.thaispecial.com/bookshop/newbookpreviewx.asp?booklist=9744094184>
40. <http://www.zonezeed.com/ForumId-5042-ViewForum.aspx>

(2010. 06. 23 受理)